



Be a gift to the world

2015-16年度 国際ロータリー第2790地区(千葉県)

ガバナー月信

地区行動目標：原点を知り、考える

2015年 7 月号

発行/2015年7月1日 VOL.1

COPY FOR MEMBERS



櫻木ガバナーご夫妻とRI会長ご夫妻

ガバナーになるまで

昨年度の宇佐見ガバナーの後を受けて本年度当地区のガバナーを務めさせて頂く櫻木英一郎です。よろしくお願い申し上げます。

私は昨年5月にガバナーノミニーが決定し、間もなく7月にはガバナーエレクト (GE) と呼ばれる事になりました。それ以降の日々は非常に目まぐるしく、実に様々な事の企画、判断、決定に追われました。しかしこれは皆様もそれぞれの立場や役職に於いて同様だと思います。

GEの義務として9月、11月に東京で数泊のガバナーエレクト研修セミナー (GETS) に参加しました。これはクラブ会長エレクトのPETSに相当します。

クラブ会長エレクトのもう一つの必須要件は地区研修・協議会に参加することです。これがGEの場合は国際協議会です。

今年1月のサンディエゴでの国際協議会の様子は宇佐見年度の月信3月号と5月号に書かせて頂きました。その2か月後の今回はその続きで、本年度の月信第1号としてラビンドランRI会長のテーマについて書かせて頂きます。

プレゼント

ラビンドランRI会長 (RIP) のテーマはご承知のように Be a gift to the world です。日本語では「世界へのプレゼントになろう」と訳されました。ロータリーの公式文書の日本語訳はRIの日本語課のみが担当します。この翻訳に際して日本語課ではギフト、贈り物、プレゼントのどれにしようかと迷った結果、一番「心がこもった」ニュアンスを持つプレゼントに決めたそうです。

このテーマは100年前にロータリー財団の基礎を築いたアーチ・クランプPRIPのDoing good in the worldに勝るとも劣らない素晴らしいテーマだと思います。

さあ、皆さんは本年度のテーマをどのように解釈されますか？ 日々の活動の中で折に触れて思い出して解釈してみてください。

本年度は言われた事を聞くだけではなく、「考えてみる一年」にして頂きたいと思います。

昨年度に引き続いて本年度もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

国際ロータリー第2790地区
2015-16年度ガバナー櫻木 英一郎
(千葉県)



2015 -16 年度 国際ロータリー会長メッセージ

2015-16年度 国際ロータリー会長 K. R. ラビンドラン

私たちの人生には、いつか終わりが訪れます。しかも、終わりは思ったより早く来るものです。この限られた人生をどのように過ごしたらいいのでしょうか。世界が良い場所となるよう、人のために何かしますか。それとも、インドの著名な詩人、ラビンドラナート・タゴールの言葉のように、「楽器の弦の張替えばかりしていて、肝心の歌を歌わずに」毎日を過ごしますか。

ロータリーの栄光は、まさにその「歌を歌う」道を見つける手助けをしてくれることにあります。人生で本当に大切なことに目を向け、私たち自身が世界への贈り物となる方法を見つけることで、より充実した意義ある人生を送れるよう、私たちを導いてくれるのです。

友人に何を求めるかを考えると、ほとんどの人は、高潔性、信頼性、思いやり、相性を挙げるでしょう。私たちが求める友人とは、必ずしも自分と似通った人ではなく、自分にはないものを持っている人、自分のいいところを引き出してくれる人です。私は、ロータリーがその特徴を備えていると思います。

ロータリーは、私たちの資質を引き出し、それを人生で生かす道を見つけてくれます。

私たちは往々にして、あまり意味のないことに捕らわれて毎日を過ごし、物を手に入れるために身をやつします。しかし、私たちがこの世を去った後、人が思い起こすのは、私たちが生前乗っていた車でも、着ていた服でも、肩書きでも、役職でもありません。より大きな資産や、より高い地位を得ようと払った努力のことでもありません。

結局のところ、私たちの人生の価値は、どれほど得たかではなく、どれほど与えたかによって判断されるのです。

ですから、苦しんでいる人から目を背けずに、その苦しみを和らげてあげましょう。同情の言葉をかけるだけでなく、実際に何かしてあげましょう。社会から享受するだけでなく、社会に貢献しましょう。

2015-16年度の私たちのテーマは「世界へのプレゼントになろう」です。

地位や身の上にかかわらず、才能、知識、能力、努力、そして献身と熱意など、誰でも与えることのできる何かをもっているはずです。私たちは、ロータリーを通じて、これらを世界にプレゼントすることで、誰かの人生に、そして世界に、真の変化を起こすことができるはずです。

「人は手を閉じて生まれ、手を開いて世を去る」、また「己の才能は、天から授かったもの」と言われます。ですから私たちは、その授かりものをお返しするのです。

私たちは皆、この世に生まれ、何でもつかみ取ろうとしますが、この世を去るときにはすべてを残していきます。ロータリーを通じて私たちは、いつまでも続く、本物の何かを残すことができるでしょう。

私たちに与えられた時間は今です。この機会は二度と訪れるものではありません。

「世界へのプレゼントになろう」

2015 - 16 年度 国際ロータリー会長
K. R. ラビンドラン

略 歴

K.R.ラビンドラン (COLOMBO ロータリークラブ所属)
スリランカ

ティーバッグの製造で世界をリードする上場企業の創設者・CEO。
このほかにも複数の企業と慈善団体の理事、およびスリランカ最大の麻薬防止団体の創立会長。
1974年にロータリークラブに入会。RI理事、財務長、財団管理委員、委員会委員・副委員長・委員長、タスクフォースメンバー、RI研修リーダー、地区ガバナーを歴任



親睦と奉仕について

国際ロータリー第2790地区
地区研修リーダー 山田 修平
(木更津東RC)

いよいよ新しいロータリー年度が始まりました。クラブ会長・幹事の皆さんは、しっかり準備されてのスタートだと思います。これからの1年間、クラブのそれぞれの組織が更に活性化し、魅力あるクラブとなり、会員も願わくは10%以上の増強ができるようにお力を発揮して頂くよう期待しています。

先日ネットで、1923-24年度RI会長のガイ・ガンディカーが「ロータリー通解」の中で、次のように著しているのを発見しました。「しばしば、ロータリアンで親睦を図ることが、ロータリー運動の全てであるように誤解される。また、ゆるぎない親睦こそ、ロータリーが存続する絶対条件だと考えているクラブもある。しかし、これらの二つの立場からの判断には、明らかに批判の余地がある。親睦はロータリー運動そのものではなく、ロータリーという植物が、根をはり、成長するためにどうしても必要な、最上の土壌なのである。」というものです。

今から90年程前にも今と同じような議論がなされていたことは驚きでした。親睦はロータリーの原点だとか、親睦こそロータリーの真髄だとか、親睦の重要性を説く話を良く聞きます。確かに親睦は大切です。しかし、親睦はロータリー運動そのものではありません。と言う言葉に心を打たれました。

ロータリーで言う親睦は、日本語の親睦とは一寸ニュアンスが違うと良く言われます。ある方は「ロータリーで言う親睦とは、ロータリー思想が形成され、成長する過程において導き出された概念であって、奉仕の心を作り出すための例会における諸活動を指している。」と言っておられます。

クラブ会長には、毎週の例会で会長挨拶・報告の時間があります。私はPETSの場で、クラブ会長は例会でロータリーの話をしてください、とお願いしました。多くのクラブ会長が、事件や事故の話題、政治の動き、趣味や興味のあるようなこと、その他マスコミで取り上げているような話題を例会で話し

ておられるようです。私は、こうした話題は、何もロータリークラブの例会でなくとも聞くことが出来ますから、例会にふさわしい会長挨拶をして貰いたいと思うからです。

確かにロータリーが誕生した当時は、会員間の互恵的な取引と親睦の2点を目的にしていました。この目的をずっと続けていたら、今日のロータリーはなかったと言われています。かの有名なドナルド・カーターの言葉である「こういうクラブは会員以外の人の役に立つようなことができれば将来性があると思う。クラブは、何か公共の奉仕をするべきだ。」という事をよく考える必要があると思います。

ドナルド・カーターが入会後、ロータリーは方針の大転換を図りました。これが今日のロータリーが存在する大きな理由の一つです。

奉仕活動を難しく考える必要は無いと思います。自分で出来る範囲のことをやれば良いのです。

先日ある会員が、自治会の役員をしていて、そこで多くの人達を集めてイベントをやったところ、大成功だった。という話しをしていました。その会員は、ロータリーが主催してやったのではないから、奉仕活動には当たらないと言われました。私は、これは立派な社会奉仕活動だと言いました。

私は例会で身につけた奉仕の精神を、地元で発揮することこそ社会奉仕だと思っています。主催は他団体であっても、奉仕の精神をもって行動する、これが重要だと思います。ロータリーは奉仕をする人の集まりだ、ということも良く言われます。私共クラブの会員が、個人で奉仕をするように仕向けるのも、会長の役割であり、例会のあり方だと思います。

本年度R I テーマ“世界へのプレゼントになろう”は、我々ロータリアンは奉仕活動を実践して、世のため、人のためになろうというテーマだと解釈しています。

皆さんのご活躍を祈ります。



櫻木年度船出に際し

国際ロータリー第2790地区

地区研修サブリダー・R L I 担当 関口 徳雄
(浦安RC)

光陰矢の如し、私もパストガバナーと言われるようになって早1年を経過しました。

現役のガバナー時代の緊張感や超多忙な日程から解放された嘘のような虚脱感の表現として、私は何かの会合では自虐的に「ラ・フランスのパストガバナーです」と言って挨拶をしております。ラ・フランス、つまり「洋梨」を「用無し」(能無しではない)にかけて申しており、若干受けております。

さて、櫻木ガバナーの始動開始と言っても、事実上は前年度の三大セミナーにてRI会長のテーマ「世界のプレゼントになろう」が発表され、又、地区運営の基本方針と地区の行動目標である「ロータリーの原点を知り、考える」が櫻木ガバナーから熱く語られましたので、7月からはエンジン全開ということでしょうか。

私も、研修サブリダーとして全面的にお手伝いをしなければならないのに、研修リーダーが卓越した方であることと、研修委員がロータリーを知悉している方々ばかりなので、つついサボってしまい申し訳ないと思っております。

ところで、私のガバナー当時、あるロータリアンから、一般の人からあるいは入会年度の浅い会員から「ロータリーとは」と質問された時、どんな風に説明したものか迷います。つまり、要領よく又は論理的に説明できない時があり、大変困ったことがあります、とのことでした。そんな時、私はロータリーの定義を覚えるか、とりあえず丸暗記しなさいと申しております。そうしますと、徐々にロータリーへの理解が深まりますよ、とも言っております。

1976年にRI理事会で次の定義文を発表しました。これがロータリーの各種文献に使用されてきました。即ち、

ロータリーは、
世界中の事業及び専門職務従事者からなる国際的組織で…………… ①

人道的奉仕活動を行ない…………… ②

あらゆる職業において高い道徳的水準を奨励し③

世界中で親善や平和を築くために助力している④

この4フレーズ(①～④は私がつけたもの) たる文章は「ロータリークラブとは何ですか」と尋ねられた時の答えとなる価値ある一文なのです。

私がこの一文を丸暗記(?)しなさいと申し上げたのは、この4フレーズの中にロータリーのエッセンスが詰められているからです。このフレーズを総論としますと、各論として以下の解釈に繋がります。

紙数の都合で要約しますと、①は、我々は職業人の集りであること(もっとも近頃は原則としてとなりますが)。②は、RIの戦略計画の一つであり、社会奉仕活動も活発に行っており、R財団の人道的プログラムに合致するものです。③は、申すまでもなく他の奉仕団体にはないロータリー独自の職業奉仕を掲げたもので、職業及び職業人の我々に高い道徳心を求めるもので、ロータリーはある種「倫理運動」だとするものに通ずることになります。④は、どこにでもある世界平和を希求する団体ですが、ロータリーの本質として主体的に行動するのではなく、あくまでお手伝い、即ち助力する組織であるとするものです。

以上のとおり、総論としてこの定義を覚え、各論として4フレーズを具体的に理解すればロータリーを一瞬にして論理的に説明できるのではないのでしょうか。

私は、地区研修サブリダーとして各クラブの研修リーダーにお会いすることになると思いますが、各研修リーダーが御自分のクラブの会員を研修される時に、少しでもお役に立てればと思い本稿を認めました。

それでは、櫻木年度のスタートに際し、我が地区が益々発展しますこと祈念し、筆を置きたいと思います。



櫻木年度の発進

国際ロータリー第2790地区
直前ガバナー 宇佐見 透
(千葉幕張RC)

ラビンドランRI会長メッセージから櫻木ガバナーによる2015-16年度地区活動目的と行動目標が構築されました。その斬新な計画に少し驚きを覚えましたが、三大セミナー等を通じガバナーの深く熱い思いは明確となり準備は整いました。出航です。

2015-16年度RIテーマは「Be a gift to the world」(世界へのプレゼントになろう)と発表されました。ラビンドラン会長は、「私達の人生の価値観は肩書きや役職ではなく、まして大きな資産や高い地位を得ようと払った努力でもありません。私達が生を受けた価値は、世界で様々な苦難の中におられる人々に対し如何に手をさしのべたかによるものです。苦しんでいる人から目を背けずに、その苦しみを和らげてあげましょう。同情の言葉をかけるだけで無く実際に何かをしてあげましょう。私達はこの世に生まれ、何でも掴みとろうとしますが、この世を去る時には全てを残していきます。『人は手を閉じて生まれ、手を開いてこの世を去ります。そして私達の才能は天から授かったものなのです。』ですから私達はロータリーを通じて、いつまでも続く本物の何かを残さねばなりません。最後に、私達に与えられた時間は『今』で、この機会は二度と訪れません。」と結ばれました。封建的な人間関係の根強いスリランカの人には稀な意味深く優しいテーマと感じました。

このテーマに基づき櫻木ガバナーは、地区の役割というのはクラブ会員が誇りを持てるクラブ作りのサポートをする事であり、地区行動目標は「原点を知り、考える」とされました。ロータリーの歴史を学ぶ時、その時代背景まで考えることで、より深い理解が得られるからとも述べられました。更に地区運営については7項目に及ぶ方針を明確に打ち出され、クラブ会長の皆様へは、PETSにて13項目にわたる具体例を示されています。一つ一つが理にかなっており細部まで考えぬかれた結果だと推察致します。地区研修協議会ではクラブリーダーの皆さんに、ガバナー基本方針全体を6つに分け、説明されました。

大きく舵を切ったRI方針に基き、理論主体の団体から実践重視の団体への転換、そして陰徳の団体から認知される団体への転換等も取り上げられました。過去に理論ばかりが先行し、知識を習得するだけで満足し、知っているが何もしない風潮がありました。日本のロータリアンは建前が先行し行動が遅いと誤解されていた時もありました。昨年度の公式訪問では、まず地域の方々にロータリーについて何でも知って頂き、一緒に行動する機会を少しでも多くお作り下さいとお願いしました。ロータリーについての知識が深まれば真の理解が生まれ、必ず増強に繋がります。奉仕、広報、増強の三位一体による連携活動こそ重要と捉え、DLPとして地区組織を改編しました。櫻木ガバナーは加えて委員会同士がもっと密接に関わり行動すべきと述べられております。増強が更なる飛躍をすることを希望して止みません。

RIは大きく舵を切りましたが、当地区も変革の時期だと思います。しかし急ぐ必要などありません。何事を成すにも時というものがあります。時とは人間の力を越えた目に見えない、とてつもない大きなものです。如何に望もうと、春が来なければ桜は咲きません。如何にあせろうと時期が来なければ事は成就しません。でも何もせずに、ただ待つことは僥倖を待つに等しい事です(僥倖：偶然に得る幸運、思いがけない幸せ)。静かに春を待つ桜は、一瞬の休みもなく力を蓄えています。蓄えた力が無ければ時が来ても事は成就しません。着々と力を蓄えられた櫻木ガバナーにその時は必ずやってきます。

新たなチャレンジを試みようとする時、ガバナー職は余りにも多忙過ぎ、しかも単年度制ゆえ、気力を失い諦めてしまいがちですが、櫻木ガバナーの強い意志と粘り強い姿勢に大きな期待をします。焦らずどっしり構え、時を見据えて実行下さい。まだまだ出航したばかり。体をいたわり、ガバナーという長い航海を楽しんで下さい。Bon Voyage!



ガバナー補佐 就任にあたって

第1分区ガバナー補佐
浦安ベイRC 醍醐 誠一

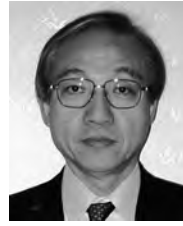
今年は戦後70年という節目の年ですが、相変わらず深刻な少子化状態にあります。

政府は過去20年以上も少子化対策を行ってきましたが少子化状態から脱出することができません。また、これまで日本の経済を支えてきた団塊の世代も急速に現役を離れ始めました。そして長年に亘ってロータリーを牽引してきました大先輩の方々も年々自然退会が目立つようになりました。こうした状況のなかで継続して会員増強をしていくことは年々困難になっていくように思えてなりません。

よく「商売は場所だ」と云われます。これは人通りの多い商店街など立地条件の良い場所なら儲かる。という意味ですが、もう一つは場所に応じた商売をしなければ儲からない。という意味があると云われております。

わがロータリークラブの活動もそれぞれの地域の特性を十分に把握し、それに応じた活動が今迄以上に求められると考えます。

竹は節（ふし）があるから雨や風、そして雪の重みにも耐え、天高くまっすぐに伸びていくと云われます。今年の戦後70年という節目の年の活動を大事にし、次の節（ステップ）に継続出来るように頑張っていきたいと思います。この一年間、よろしくお願いいたします。



ガバナー補佐 就任にあたって

第2分区ガバナー補佐
船橋西RC 前田 昌男

2015-16年度ガバナー補佐を引き受けることとなりました。私がこの責務を果たせるか分かりませんが、地区リーダーの皆さん、クラブ会長・幹事の方々や私の補佐業務をサポートして頂く幹事をはじめ船橋西ロータリークラブの仲間の協力を得て1年間努めて参ります。

私は15年前、船橋本社の企業を預かることとなり、その縁で船橋西ロータリークラブに入会しました。ロータリーを学ぶと言う強い意志を持って入会した訳ではなく、企業ロータリアンとして様々な職業人との付き合いの中で地域に貢献できればとの思いで入会しました。入会動機が満たされているか判断することは難しいのですが、真摯にロータリー活動に向き合う先輩ロータリアンの姿に接することができた自分は幸せだと思います。そのようなロータリアンが増えていけば素晴らしい社会が実現できるだけでなく、会員増強にも繋がるのではないのでしょうか。

ロータリークラブは組織ですから自ずとルールがあり、手続きがあります。しかし、そのことに拘り過ぎて「ロータリーはこうでなければならない」と主張する方々もいますが、時代の変化や価値観が多様化する中で多様な価値を認め、受け入れる意識も大切だと思います。櫻木ガバナーは「ロータリーをやさしく理解しよう」を運営方針として掲げております。「やさしく」の解釈はいろいろできるのですが、私は本質を理解することがやさしく理解することに繋がると考えています。本質を理解するためには、物事の起きた背景や前提条件を知り、その結果のなぜを考えることだと思います。なぜ、なぜの先に本質が見えてくるのです。

櫻木ガバナーの基本方針や地区方針を分区内クラブに伝えるだけでなく、分区内クラブの抱えている課題や考え方を地区にフィードバックして課題解決に少しでも役立てればと考えています。1年間宜しくお願いします。



ガバナー補佐 就任にあたって

第3分区Aガバナー補佐
千葉西RC 山本 康昭

この度、櫻木英一郎ガバナー年度の第3分区Aガバナー補佐を拝命しました千葉西ロータリークラブの山本康昭と申します。

ロータリアンになって32年、年数ばかりは重ねてきましたが、ロータリーの知識はお世辞にも豊かとは言えず、ガバナー補佐就任の呼びかけで、ロータリアンは断ることはご法度と先輩から学んでいましたので、「ガバナーの代弁者であればよいだろう」位の認識でお引き受けしましたが、準備が進み櫻木新ガバナーの考え方が明らかになるほどに、期待されている責任の重さに、不安の募るスタートとなりました。

RI会長K.R.ラビンドラ氏の「Be a gift to the world」（世界へのプレゼントになろう）のテーマの元、櫻木ガバナーは地区の行動目標として「原点を知り、考える」と掲げられました。

ロータリーを深く理解するためには誕生の事実を知るだけでなく、時代背景や更にその後の影響まで知らなければ真の理解は深まらなないと断言されています。

年度開始前の「三大セミナー」や年度開始当初の各地区で開催される「IM」を通じて、上記の思いに至った経緯と考え方、今後の取り組みについての所信を直接ロータリアンに語りかけるといふ、今までになかった新手法で臨まれる櫻木ガバナーの強い意志に感服している現在です。

ロータリーの今を考えると、世界的に、特に日本において衰退の一步をたどりつつある不安を感じ、それらに歯止めをかけるべく、新ガバナーの方針の期待に応えるべく努力してまいる所存ですので、よろしくご協力下さるようお願い申し上げます。



ガバナー補佐 就任にあたって

第3分区Bガバナー補佐
千葉緑RC 郭 福男

2015-16年度ガバナー補佐を務めさせていただきます郭です。

ガバナー補佐の役割とは何か？

「地区を成功に導くリーダーシップ」ガバナー補佐編2014-15年を参照しますと、ガバナー補佐の主な役割は、担当するクラブが効果的に運営される様をサポートすることによって、ガバナーを補佐するとあります。更にガバナー補佐の責務について、「ガバナー補佐は、ガバナーとクラブに対する責務を担っており、地区レベルでは次のような責務が含まれる」とあります。

1. 地区目標の設定を援助する。
2. ガバナーのクラブ公式訪問のスケジュールを調整する。
3. クラブの強みや弱み、目標に向けた進捗をガバナーに伝える。
4. 地区会合に出席する。
5. ロータリー財団の活動や募金活動を含む、地区行事や活動に参加する。
6. 地区研修セミナーに参加する。
7. 会長エレクト研修セミナーと地区研修協議会に出席する。
8. 将来の地区リーダーを探し、その育成を援助する。
9. クラブの状況について次期ガバナー補佐に情報を提供する。

その中で私は「1. 地区目標の設定を援助する。」この項目に重点を置いて勉強して参りたいと思います。

2015-16年度櫻木英一郎ガバナーが唱える「ロータリーを易しく理解する」ことから始まり、地区重点目標である「ロータリーの原点を知り、考える」、このことによって地区の活性化が図れると説いております。

是非ロータリアンの皆様とインターシティーミーティングを通じロータリーへの理解を深めて参りたいと思います。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。



ガバナー補佐 就任にあたって

第4分区ガバナー補佐
富津RC 神子 恒

この度、伝統ある第4分区ガバナー補佐を務めさせていただきます富津ロータリークラブ神子でございます。

本年度始まるとすぐに、事業を（I・M）計画させていただいております。分区内各クラブの皆様には、何時もの年度始めとは、様子の違いを感じていらっしゃると思いますが、ご協力の程、宜しく願い申し上げます。

ガバナー補佐としましては、櫻木ガバナーの方針を的確に分区内8クラブに伝え、各クラブの提言・要望等をガバナーに伝える等の作業をフレキシブルに進行させて行くことが、ガバナー補佐の任務と心得ております。

ガバナー補佐就任の為の会議におきまして、本年度櫻木ガバナーは、各ロータリアンが、今一度ロータリーの歴史・伝統・理念・道徳を学び、地域社会に奉仕することと、質の高い各クラブ活動を目標とする事を望まれております。

入会以来、安易に過ぎて参りました私ですので、ガバナー補佐としての資格も充分ではありませんが、ガバナー補佐の役目は「分区内クラブがロータリーの目的に向かい、より円滑に、元気に推進する」ことをお手伝いすること、地区・分区に役立つ事を本分として参りたいと思います。

就きましては、この一年間皆様の寛容で、崇高な精神におすがりし、第4分区内8クラブの皆様と共に、元気で楽しいクラブ活動のお手伝いが、ガバナー補佐として出来ますように、どうぞ深くよろしくお願い申し上げます。



ガバナー補佐 就任にあたって

第5分区ガバナー補佐
鋸南RC 吉岡 諭史

2014年10月の第1回の次期ガバナー補佐会議が招集されて以降、何らかの会議が次々に行われ、当初は、2015年7月はまだ半年も先の事とのんびりと構えておりました。

さらには、ガバナー補佐の務めは、ガバナーの分区への水先案内人として、その年度方針や意向を分区の皆さんへ速やかに周知し、地区と分区の意思疎通をはかることだろうと自分流に深く考えもせず認識していました。

しかしながら何度となく櫻木ガバナーの本年度の方針やその意向・意欲に接するにつれ、自分流の考えを変え改めざるを得なくなりました。一年間のロータリー活動を有意義なものにするためにも早くからの準備が必要不可欠である事、今までの方法論を大きく変革され、行事日程も年の前半に集中されて、その舵を大きくきりました。

櫻木ガバナーのご決意、その意欲にしっかり附随し、ガバナーの依頼に応えねばと存じます。

分区の皆さんにはいろいろとご無理なお願いをするようになろうかと思いますが、ご指導ご支援ご理解をよろしくお願い申し上げます。

そして、共にロータリーを楽しみましょう。



第6分区ガバナー補佐を お引き受けするにあたって

第6分区ガバナー補佐
成田空港南RC 土屋 俊夫

今年度第6分区のガバナー補佐を務めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

ガバナー補佐はガバナーになり代わり各クラブにガバナーの方針を伝え、実行していただく役目ですが、活動原資は地区の支出ではなく各クラブの支出で成り立っています。つまり各クラブに対して何がしかのお世話をしなくてはならない立場でもあります。

まず実行したいことは各クラブの現状の認識と問題点の洗い出し、その上で各クラブの目的とそれを実行する為の戦略、実現するための目標を策定する事です。今年度の事業計画には反映されませんが、地図の作製は非常に重要な仕事です。

各クラブそれぞれの歴史があり、伝統としてきた事が有ると思いますが、それを今後も続けられるかどうか、今一度見直すことも大切な事です。

今年度の国際ロータリーのテーマ及び櫻木ガバナーの方針はPETS及び地区協議会で確認されている事だと思います。それに対して各クラブはどの様にチャレンジするのか、各クラブ例会訪問時、会長幹事会、各セミナー他でお会いした際は意見交換をお願い致します。

かつて先輩ロータリアンは大変高揚してクラブ設立し維持したと想像しますが、できることならその様な事が今一度起きて欲しいです。

一年間、至らない点が多く迷惑をおかけいたしますが、お付き合い宜しくお願い致します。



ガバナー補佐就任に あたりましてのご挨拶

第7分区ガバナー補佐
銚子東RC 黒田 幸一

2015-16年度、第7分区ガバナー補佐の職を務めさせていただくことになりました。

ロータリー入会早20年があっという間に過ぎ去り、ロータリー学に浅学であります、

第7分区、4クラブの持ち回り当番クラブということでお受けしました。

私より適任な会員もたくさんいたと思いますが、自分に回ってきてしまいました。

お受けした理由の一番はなんと言ってもクラブへの愛着では無かったかと思います。

1月19日、23日と、サンディゴ国際協議会での現地報告が櫻木英一郎ガバナーより届きました。今年度RI会長スリランカのラビンドラン氏の演説でした。

「我々は愛、健康などの色々な贈り物を授かって来た。今度は我々がそれを返す番である。我々は世界へのプレゼントになろう」等々、一期一会の心に通じる感動的な演説でしたと一報が届き、二報では、国際協議会での「日々もあと一日となりました。あっという間の五日間でした。今となってはもっといたい気分です」と、今年度櫻木ガバナーの意気込みが感じられる御報告でした。

その表れとして、「IMを早期に実施し2790地区会員の皆様とお会いして、今年度の方針を伝えたい、また公式訪問、分区分会長幹事会など都合三回の訪問を予定しています」と、補佐会議の折に、櫻木ガバナーが話されました。

現在ロータリークラブも会員数をはじめ格差が感じられる様になりました。

第7分区4クラブの個性を櫻木ガバナーに受け止めていただき、そしてガバナーの方針の橋渡しになれば幸いです。

2790地区の皆様、そして、第7分区の皆様一年間のご指導、ご鞭撻を御願いいたしまして、就任の挨拶とさせていただきます。



ガバナー補佐 就任にあたって

第8分区ガバナー補佐
佐原香取RC 篠塚 茂樹

平成8年6月に佐原香取ロータリークラブの創立と同時に入会いたしました。入会当時の「ロータリーの綱領」及び、「四つのテスト」を知りロータリークラブに入会して良かったなと感じました。なぜならば日常生活の中では仕事優先になり、なかなか読書等で意識を高めることが希薄になりがちと感じていましたが「ロータリーの綱領」及び、「四つのテスト」を読みますと即時にもっと努力が必要だと再認識されるからです。せっかく先輩の方にこのような会合に入れて頂いたからには三年間は欠席しないで様々な行事に出席しようと心がけ、数年が経過しました。そのうちに例会や各行事に欠席をすると「ロータリーの綱領」及び、「四つのテスト」に背くようで何かもったいないような気持ちになり、約18余年が経過しました。現在は「ロータリーの綱領」は2012年に「ロータリーの目的」に改訂されましたが趣旨は変わらないと解釈します。

ロータリークラブの行事に参加してみると多くの委員会の事業等についてもっと知識を得る必要性を感じます。これらを勉強しながら分区内の連携を保ち、各クラブに多少でも貢献できるよう又、私個人の日頃の職業、私生活に役立てていきたいと思っています。

丹羽文雄の小説で親鸞上人が“御題目の内容を理解しなくても衆人、ましてや悪人こそ「南無阿弥陀仏」と唱えれば救われる”とご教示されていると書いてありましたが、私も「ロータリーの目的」を日ごろから想起し、自分を律して生活しようと思っています。



ガバナー補佐 就任にあたって

第9分区ガバナー補佐
白井RC 伊藤 仁

第9分区ガバナー補佐を仰せつかりました白井ロータリークラブの伊藤です。どうぞ宜しくお願い致します。

ラビンドランRI会長の「変化を受け入れる」は変化を作るべき人と、固定観念を持って変化を批判する人の両方への警句です。また、櫻木ガバナーもロータリーは毎年が実験で、その結果を見て次の年度が良い所を採れば良く、批判を恐れず改良すべきと言っておられます。私の所属クラブや皆さんのクラブでも、少なからず改良すべき点はあると思います。今年は活動しやすいクラブにしていってください。

地区協議会で『ロータリーを理解しよう』という冊子が配布されました。これは、何を指しているのか、新しい会員と理解の足りない会員にロータリーの研修を行っていただきたいとのことであり、私も共に学んで行きたいと思っています。

第9分区所属6クラブでは、クラブの大きさにより奉仕活動の範囲に差はありますがロータリークラブの奉仕活動等を活用し知名度を上げる広報活動を行っていただきたい。

それと、6クラブが親睦をより深くする事により情報交換ができ、ロータリー活動が活性化することを期待します。

終わりに、ロータリークラブの会員が楽しく規律正しく参加できるクラブ運営をお願いすると共に、何かのお役に立てればと思います。



ガバナー補佐 就任にあたって

第10分区ガバナー補佐
柏西RC 榎 隆夫

第10分区（柏市・我孫子市、5クラブ）のガバナー補佐を務めさせていただきます、柏西ロータリークラブの榎隆夫と申します。いままで、自クラブのことだけで、地区のことは何一つ経験がございません。地区に対しては、新参加者です。どうぞよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

今年度、櫻木ガバナーは、私どもに対して、様々な会合、会議で、ご自身の地区運営の基本的考え方、進め方を示され、実際にこれまで、地区研修セミナー、会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会等で新しい形の運営に当たられておられます。

特にガバナー公式訪問の前に、分区単位ではありますが、各クラブの会員に直接ガバナーの想いを伝え、その想いをうけて、クラブ、あるいは会員個人がどうロータリーについて考えるのかを、後のガバナー公式訪問で、意見交換をしたいということであります。

地区を変えてゆこう、従来の形を新たな形に、このガバナーの意欲に賛同し、敬意を払うものです。

私も、分区内のクラブに、この櫻木ガバナーの意図することを正しく伝え、また、分区内各クラブの実情を、考え方をガバナーにお伝えし、ともすれば地区は地区、クラブはクラブという隔たりをもっている現状を、少しでも両者を近づけてまいりたいと考えます。

地区とクラブが共通の認識のもと、情報を共有し、地区とクラブがより近い存在になればと考えます。

又、分区内各クラブの交流を深め、その上で、共通した課題解決のために、櫻木ガバナーに習い、新しいスタイルの活動を志向したいと考えます。分区内各クラブのご協力と会員の皆様のご支援を得て、微力ながらお役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



ガバナー補佐 就任にあたって

第11分区ガバナー補佐
佐倉中央RC 橋岡久太郎

ガバナー補佐を務めさせていただきます佐倉中央RCの橋岡久太郎と申します。

古典芸能の能楽(2001年、ユネスコ世界無形文化遺産認定第一号・このことをご存知でない方もいらっしゃると思いますので)を生業といたしております。

この一年、11分区の7クラブを頻繁にご訪問させて頂き、皆様お一人お一人と親しくさせて頂くことを楽しみにいたしております。

櫻木ガバナーの思い、地区チームの方針、情報等を皆様にお伝えいたしながら、皆様のご要望やお考えを櫻木ガバナー、地区チームに素早く伝達いたして参ります。

国際ロータリーのスリランカ選出ラビンドラン会長は、「我々は命、愛、健康などの色々な贈物を授かって生きて来た。今度は我々がそれを返す番。

我々は世界に贈り物をしよう。むしろ我々自身が世界のプレゼントになろう。Be a gift to the worldそして、あなたの役職に於いてそれが出来るのは1年だけ」

櫻木ガバナーは、「仏教思想に則った一期一会の心に通じる感動的な言葉で、クラブや地区チームそれぞれの立場に当てはまる内容だ」と。

私も思うに、人生の日々全てが一期一会だと存じます。

私の職業上の心書に、世阿弥の「風姿花伝」という書物があります。

良き仕事をいたし良き人生を送る為の心掛けが書かれています。ロータリークラブを楽しみ、奉仕の素晴らしさを感じる為の礎にもなるかと存じます。

たとえば、「初心忘るべからず」幾つになっても物事の初期の感動を忘れること無く謙虚な心で臨もうと、ロータリーとの関わりもそうでなくてはならないと思います。

「離見の見」自分の演じる姿を、客観的に自分の外から見るように心がける。

ロータリーの関わり方も、たえず今が良き状態か？楽しいか？問いただしてみると云うことかと。

皆様、如何でしょうか？

今年度、皆様が、第11分区所属で良かった、国際ロータリー2790地区で愉しかったと思える一年になることに全力で励む所存です。

よろしくお願い申し上げます。



ガバナー補佐 就任にあたって

第12分区ガバナー補佐
松戸西RC 杉浦 昌則

1999年に入会させて頂き毎日の厳しい仕事の現場を離れ、昼日中異業種の方たちとお会いし、楽しく食事ができ良いお話を聞けるなんて、私にとって例会は至福の時に感じました。それで満足をしておりましたので、自分がガバナー補佐になることは全く考えておりませんでした。今回のお話を頂いたときは自分には無理だと思っていましたが、長年ロータリーにお世話になってきましたので、これも「ご奉公」だと思い腹をくくりました。

今年度のRIラビンドラン会長のテーマ「世界へのプレゼントになろう」。そして2790地区の櫻木ガバナーの、地区行動目標である「原点を知り、考える」。そして地区方針として「ロータリーをやさしく理解する」。これらのテーマについては私が申すまでも無く、ガバナー月信や7月からスタートするIMの場において、ガバナーご自身からご説明があることと思います。私もガバナー補佐としてこれらの方針をよく理解し、実践に務めてまいりたいと考えています。

私はこれまでほとんど自クラブの事しか頭にありませんでした。ガバナー補佐エレクトに推奨され、あらためて「手続要覧」や「ガバナー月信」、「ロータリーの友」などを、ラインマーカーを片手に、これまでになく真剣に読み込むようにしました。その結果分かったことは、「今までの自分は、な～んにも分かっていなかったな。」ということでした。そう思ったり考えた時、ロータリーは実にたくさんの珠玉のような先人の思想や、時代の知恵に囲まれて存在している事に気づかされます。「ロータリー」はまさしく宝の山なのです。そう思った時ロータリーの本当の楽しさを知った思いです。まだガバナー補佐の任務の入り口に立ったばかりですが、ロータリーライフを皆様とともに楽しく過ごせたら良いと考えます。どうぞ一年間、よろしくお願い申し上げます。



ガバナー補佐 就任にあたって

第13分区ガバナー補佐
野田RC 古谷 尊生

2012-13年度野田ロータリークラブ会長として、何とか一年間無事に務め終えたとほっとしていたら、ガバナー補佐をやれということで、ガバナー補佐とは何かという事からスタートしなければならなくなりました。

地区チーム研修セミナーや各種会合を通じて、ガバナー補佐の役割や仕事を少しずつ理解し、これからいよいよ実践する時がやってきました。

今年度櫻木ガバナーは、RI会長ラビンドラン氏のRIテーマである「Be a gift to the world」「世界へのプレゼントになろう」のもと、「原点を知り、考える」という地区行動目標を掲げ、「ロータリーをやさしく理解する」という事を地区方針の一つとして、3大セミナーを通して訴えてきております。

また、従来の公式訪問やIMのあり方を大胆に見直し、年度始めの早い時期での分区単位でのIMに自ら講師として出席し、RIテーマやご自身の地区運営方針について、直接語りかけようとしており、公式訪問においてはそれらを踏まえた各クラブ会員との討議の場にしたいと考えております。

この考え方を分区内5クラブ会員の皆様にお伝えし、スムーズに意思疎通出来るようにするのが私の務めかなと考えており、会員皆様方のご協力をいただきながら、微力ではありますが地区の発展、また分区内5クラブの融和と発展の為に努力するつもりですのでよろしくお願い致します。

「ロータリーの理念を身近に学び理解するための心がけ」

地区ロータリー理念研究委員会
委員長 海寶 勘一
(千葉西RC)

ロータリーの始祖ポール・パーシー・ハリスが1900年初頭のシカゴの街で、精神的な満足を得るために暗中模索し、心を通わせ合う互惠仲間を求めて結成したロータリークラブ。紆余曲折を繰り返しながら発展し110年目を迎えています。シカゴで誕生したそのロータリークラブが世界中に広がり、日本でもクラブ結成ができたのは1920年（大正9年）東京クラブでした。創立に尽力した米山梅吉翁や福島喜三次さんら先達の苦悩や熱情に思いを馳せることは、大切に有意義な心がけです。我が2790地区の創始クラブである千葉クラブ創立時の歴史的考察を知ること、ロータリーの精神となる理念を身近に触れることができます。創立特別代表を務めた東京RCの柏原孫左衛門さんの国際ロータリーへの復帰活動に、全国を夜汽車に乗って説得に尽力された偉業も記憶に残すことが大切です。何故シカゴの街で誕生したロータリーが連綿と世の中と共存でき、時々大きな影響を残してきたのか、今更ですが、私たちのクラブが承認された国際ロータリーの歴史を振り返ってみたいと思います。地区ロータリー理念研究委員会として毎月のガバナー月信に貴重な1ページをお預かりして、配信できることは名誉です。まずは理解し易い簡潔な表現を優先させ、先達が残された記録を見つけ出し、分かりやすく発表できる作業を心がけます。私たちは自分自身が感動できる奉仕活動から成長して、人様にも感動のお裾分けができる懐の広いロータリアンを目指し、信頼し合い切磋琢磨し合うことが真のロータリーライフであると確信しています。米山梅吉翁は、クラブ例会は人生道場であり自己研鑽の場であると明快な至言を残しています。人間性を高めてこそ得られる人徳や尊い信頼関係は、ロータリーで学び身につけた人生哲学が根底にあることを大いに誇りあいたいものです。常に足元を見つめながら謙虚な心を持ち、人を思いやり尽くしあえる心遣いは貴重であり、「Fellowship Through Service奉仕を通しての親睦」、に結びつきます。所属するロータリークラブは「RI国際ロータリー」に加盟を認められたクラブであり、私たちロータリアンは標準クラブ定款第15条にある、ロータリーの目的の受諾と定款・細則の遵守をした会員であることを再認識しましょう。根幹としての目的

は、「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」にあり、「The Ideal of Service 奉仕の理想」である「Thoughtfulness of and Helpfulness to Others他者への真の思いやり」は常に探求する心がけが必要です。ロータリアンとして親睦と奉仕、理論と実践と対比的に言われてきた究極の理念は寛容と調和のところにあります。手続き要覧にある第6章基本理念に書かれている内容、「The For-Way TEST 四つのテスト」・「The Object of Rotaryロータリーの目的」・「Mission of Rotary International国際ロータリーの使命」・「Mission of the Rotary Foundationロータリー財団の使命」・「Core Values中核的価値観」も、日々おさらいを心がけたいです。常に気高い意識をもって人間性を高めるロータリアンを自認し理論を実践させたいものです。ロータリーは基本的には一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は「Service Above Self超私の奉仕」の哲学であり、「One Profits Most Who Serves Best最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践倫理の原理に基づくものである。この文章は1923年の声明にある決議34第1項でロータリーの至宝になっています。クラブ例会ではロータリーの理念についての議論を極自然に対話できることが肝心です。「ロータリーは、人道的奉仕を実践し、様々な職業人として道徳的水準を向上させることを奨励し、世界平和と国際親善に寄与することを目指した、事業及び専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体である」ということを確信し誇りにしたいものです。地区ロータリー理念研究委員会総意の発表の場として、毎号スポットを変えながら、理念を噛み砕いて紹介できるように励んでいきますので、ご一緒に学びあっていきましょう。

参考資料(手続要覧+ロータリーの源流アーカイブ)

第2790地区ロータリー理念研究委員会
海寶勘一（千葉西）、平山勝己（千葉若潮）、大内 啓
（柏南）、島 正彦（館山）、松田泰長（成田）

新年度を迎えて（地域別会員増強計画概要）

第2ゾーン RC 金杉 誠

コーディネーターニュースを発行するようになりましてちょうど一年がたちました。皆様ご承知のように、日本には第1ゾーン第2ゾーン第3ゾーンの3つのゾーンがございます。このコーディネーターニュースは、各地区を超えて日本全体での情報共有を目指しているものですが、つい先日、北R I 直前理事、杉谷R I 理事、辰野地域別会員増強プロジェクトリーダー、及び3ゾーンのコーディネーターが日本事務局に集まりまして、15～16年度ガバナーの皆様から頂いたアンケート調査結果に基づきまして、地域別（すなわち日本全体の）会員増強計画の概要を決定いたしました。主な目標を下記に記します。

- 1、全クラブのうちの30%が、ロータリークラブセントラルで少なくとも15の目標を設定し、達成状況を記録する**
- 2、各地区で新しいロータリークラブを少なくとも1クラブ設立する。**
- 3、会員の男女比を縮小するため、女性会員の比率を少なくとも2%増やす**
- 4、会員の年齢層を広げるため、40歳未満の会員の比率を少なくとも2%増やす**
- 5、新会員推薦者の数を少なくとも1%増やす**
- 6、会員維持率を少なくとも1%増やす**
- 7、各クラブで会員の50%が My ROTARY に登録するよう奨励し、My ROTARY の登録者数を増やす**
- 8、全クラブの30%が、ウェブサイト、ソーシャルメディア、広報関連資料を更新し、もっと生き生きしたものにする**
- 9、全クラブの30%が、「クラブ評価」を実施し、多年度にわたる会員増強戦略を立てる**

もちろん各地区ガバナーはそれぞれ地区目標を立てておられると思いますので、各地区での目標達成に向けてご努力頂きますようお願いいたします。今年度の特徴としては従来の会員増強の数値目標のみならず、ロータリークラブセントラルや My ROTARY への登録の数値目標が設定されていることであります。これはラビンドラン R I 会長の示された会長賞の必須項目に「15のクラブ目標をロータリークラブセントラルに入力する」とある事に対応したものです。何れにしろ R I は戦略計画の実践をロータリーのホームページの利用を促進することによって達成しようとしていることの表れでもあります。各地区におかれましても I T セミナー等を開催して会員全体へのご理解を賜るようお願いいたします。私たちロータリーコーディネーター、ロータリー財団コーディネーター、ロータリー公共イメージコーディネーター、恒久基金大口寄付アドバイザーは、皆様方の地区の研修にも喜んで参加いたしますので、いつでもお気軽にお声をおかけください。

(公財)ロータリー米山記念奨学会ニュース (ハイライトよねやま183号)

～今月のトピックス～

- ・寄付金速報 — 今年度の送金はお早目に —
- ・2015-16年度よねやま親善大使 — 4人の大使が活動 —
- ・理事会開催報告 — 来年4月採用数は740人に決定 —
- ・第2回次期地区米山奨学委員長セミナーを開催
- ・ネパール復興を願って — 関西米山学友会が募金活動 —
- ・【訃報】評議員 塚原初男氏 (第2800地区) 逝去

トピックス詳細につきましては、下記アドレスにてご覧ください。
http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight183_pdf.pdf

《今月のピックアップ記事》

2015-16年度よねやま親善大使 — 4人の大使が活動 —

6月1日、第2代よねやま親善大使オリエンテーションを開催し、新しい親善大使へロータリーや米山記念奨学事業について研修を行ったほか、初代親善大使の楊さんから先輩からの体験談を話していただきました。

翌2日の理事会開催前にはよねやま親善大使の任命式が行われ、全国各地の理事の前で、小沢理事長から委嘱状が手渡されました。また、この6月で退任する初代よねやま親善大使・尤銘煌さんには感謝の盾が贈られました。尤さんの2年間にわたる活躍に感謝申し上げます。

2015-16年度は4人のよねやま親善大使が米山記念奨学事業をPRします。地区の米山関連行事にぜひお呼びください。招へいのご相談は当会事務局広報担当まで。どうぞよろしくお願いいたします。

◆重要なお知らせ

今年度の寄付実績は6月30日(火)までに当会の銀行口座に入金記帳された分までとなります。普通寄付金・特別寄付金のご送金は、日程に余裕を持ってお送りくださいますよう、ご協力をお願いいたします。

■2015-16年度 IM日程表

月 日	分 区	A G	ホストクラブ	点鐘時間	場 所
7月13日(月)	第13分区	古谷 尊生	野田RC	14:00	ホテル グランボワ
7月16日(木)	第5分区	吉岡 諭史	鋸南RC	13:30	富浦ロイヤルホテル
7月17日(金)	第10分区	榊 隆夫	柏西RC	11:30	ザ・クレストホテル柏
7月21日(火)	第4分区	神子 恒	富津RC	13:30	ザ・フィッシュ
7月22日(水)	第11分区	橋岡久太郎	佐倉中央RC	14:00	ウイシュトンホテル・ユウカリ
7月23日(木)	第1分区	醍醐 誠一	浦安ベイRC	13:30	オリエンタルホテル東京ベイ
7月26日(日)	第7分区	黒田 幸一	銚子東RC	13:00	銚子商工会館1階大ホール
7月29日(水)	第12分区	杉浦 昌則	松戸西RC	12:30	松戸商工会館5F 大会議室
7月30日(木)	第6分区	土屋 俊夫	成田空港南RC	13:30	横芝光町文化会館 集会室
7月31日(金)	第2分区	前田 昌男	船橋西RC	14:00	船橋グランドホテル
8月2日(日)	第8分区	篠塚 茂樹	佐原香取RC	14:00	パレス大藤
8月3日(月)	第9分区	伊藤 仁	白井RC	14:00	成田ビューホテル
8月4日(火)	第3分区 (AB合同)	山本 康昭 郭 福男	千葉西RC 千葉緑RC	15:00	京成ホテルミラマーレ 6階

■2015-16年度 セミナー日程表

月 日	セミナー	主 催	時 間	場 所
7月18日(土)	クラブ研修リーダーセミナー	研修委員会		TKP ガーデンシティ千葉
7月24日(金)	IT広報公共イメージセミナー	IT広報公共	12:30~18:00	千葉市文化センター
8月22日(土)	会員増強・退会防止セミナー	増強・防止	午後	オークラ千葉ホテル
8月23日(日)	クラブ米山委員長セミナー	米山委員会		成田ビューホテル

事務局 FAX番号変更のお知らせ

君津ロータリークラブ

日 時 2015年6月1日(月) 9時より
 新FAX番号 0439-20-8880

文 庫 通 信 (333号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報

- ◎「ロータリーの目的と人生哲学」 上野 操 2015 2p (D. 2580武蔵野分区インターシティ・ミーティング報告書)
- ◎「日本の職業奉仕観の底流にある思考 ロータリアン二宮尊徳翁」 塚原房樹 2015 1p (D. 2510月信)
- ◎「職業奉仕」 D. 2660 2015 7p (ロータリーの心と実践改訂版)
- ◎「職業奉仕への私の思い、ロータリーは人づくり」 渡辺好政 2010 28p
- ◎「『奉仕の理念』が世界を救う〜古典的職業奉仕論を超えて〜」 本田博己 2014 24p
- ◎「職業奉仕は I Serve」 新藤信之 2014 [12p]
- ◎「ロータリーの歴史年表(改訂)」 諏訪昭登 2015 8p
- ◎「ロータリーの歴史に学ぶ」 諏訪昭登 2015 6p
- ◎「国際ロータリー認証状から見た日本戦前史」 前岡志郎 2015 70p

[上記申込先：ロータリー文庫]

- ◎「読みやすい手続要覧」 坂本俊雄 2014 62p

[申込先：(有)レオパオラ FAX(042)622-7271]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル 3 階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付 年次寄付 (マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)



清水 俊雄
(茂原 R C)
4 回目



鈴木 健吾
(柏西 R C)
4 回目



宮崎 清輝
(習志野中央 R C)
4 回目



最首 利光
(茂原 R C)
1 回目



栗原 崇次
(茂原 R C)
1 回目



青柳 征三
(茂原 R C)
1 回目



正林 義博
(茂原 R C)
1 回目



信太 秀紀
(銚子 R C)
1 回目



佐藤 英雄
(成田 R C)
1 回目



森市 直樹
(柏西 R C)
1 回目



矢野 周二
(習志野中央 R C)
1 回目



山崎 由美
(習志野中央 R C)
1 回目

(ポール・ハリス・フェロー)



金坂 一郎
(茂原 R C)



荒 徹
(茂原東 R C)



石毛 園子
(銚子東 R C)



朱 孝
(習志野中央 R C)



宮崎正二郎
(習志野中央 R C)



川手 健豪
(習志野中央 R C)



橋本 豊
(習志野中央 R C)

恒久基金（ベネファクター）



宮本 和夫
(千葉幕張R C)



本橋 和也
(茂原R C)

米山功労者



崎山 征雄
(習志野中央R C)
17回目



宮崎 清輝
(習志野中央R C)
6 回目



三枝 巖
(茂原R C)
4 回目



秋葉 幸男
(茂原R C)
4 回目



佐野 幸雄
(銚子東R C)
2 回目



那須 隆吉
(市川南R C)
1 回目



有村 忠
(市川南R C)
1 回目



武藤 一成
(千葉幕張R C)
1 回目



正林 義博
(茂原R C)
1 回目



田中 英子
(銚子R C)
1 回目



関根 輝男
(銚子東R C)
1 回目



小寺 真澄
(成田R C)
1 回目

新ロータリアン（敬称略）



中村 好彦
(船橋西R C)
証券業
3 月27日入会



指吸 要
(船橋西R C)
警備請負業
3 月27日入会



加藤 宏明
(茂原R C)
ガス供給
4 月2日入会



森 武
(茂原R C)
天然ガス製造
4 月2日入会



岡田 真吾
(野田R C)
建築塗装業
4 月6日入会



穂葉 直樹
(茂原R C)
社会福祉施設
4 月16日入会



杉浦 健
(成田R C)
生命保険
5 月8日入会



菊池 昌隆
(柏西R C)
証券業
5 月8日入会



早川 光樹
(館山R C)
農業
5 月13日入会



根本 法男
(館山R C)
証券業
5 月13日入会



田中 憲一
(茂原R C)
建築内装
5 月14日入会



南日 隆男
(成田R C)
航空運輸
5 月15日入会



田伏 奈緒美
(柏R C)
ホテル
5 月20日入会



中澤 裕隆
(柏R C)
生涯学習
5 月20日入会



市橋 拓道
(茂原R C)
土木工事
5 月21日入会



菅原 光江
(船橋西R C)
美容業
5 月22日入会



松本 好司
(船橋西R C)
漁業協同組合
5 月22日入会



渡辺 智志
(茂原R C)
弁護士
5 月28日入会



影山 勝
(柏西R C)
百貨店
5 月29日入会



野寄 順三
(柏西R C)
サッカークラブ
5 月29日入会



瀧岡 錠仁
(習志野R C)
証券業
6 月3日入会



中古 誠二
(千葉中央R C)
食品製造
6 月4日入会



白石 一弘
(木更津R C)
信用組合
6 月4日入会



安川 篤志
(木更津R C)
貯蓄銀行
6 月4日入会



足立 進
(木更津R C)
信用金庫
6 月4日入会



山崎 真弓
(船橋西R C)
飲食業
6 月5日入会

R I 第2790地区（千葉）2015年5月出席・会員数報告

分 区	クラブ名	出席率 %	例 会 数	会 員 数				
				7/1	女	当 月	女	増 減
第1分 区	市 川	100.00	4	39	0	40	0	1
	市 川 東	100.00	3	41	0	41	0	0
	市 川 南	68.48	3	17	2	16	2	△ 1
	浦 安	83.30	4	33	0	38	1	5
	市川シビック	79.10	3	34	0	36	0	2
第2分 区	浦 安 ベイ	81.25	4	15	0	16	0	1
	船 橋	90.00	3	23	0	25	0	2
	船 橋 西	92.51	4	41	5	39	5	△ 2
	鎌 ケ 谷	84.42	3	26	2	29	2	3
	船 橋 東	80.00	4	28	2	29	1	1
第3分 区A	船 橋 南	66.67	3	20	4	15	4	△ 5
	船 橋 みなと	73.39	3	20	5	20	5	0
	千 葉	91.33	3	66	1	70	2	4
	新 千 葉	72.14	3	43	0	49	0	6
	千 葉 西	84.62	3	63	5	61	4	△ 2
第3分 区B	千 葉 中 央	80.43	3	34	0	36	0	2
	千 葉 幕 張	79.19	3	37	3	38	3	1
	千 葉 東	79.06	3	31	4	31	3	0
	千 葉 若 潮	70.37	4	29	2	31	2	2
	千 葉 南	79.25	4	49	6	51	7	2
第4分 区	市 原	78.03	3	42	2	44	2	2
	千 葉 港	72.35	4	26	1	24	2	△ 2
	市 原 中 央	85.19	3	50	2	47	2	△ 3
	千 葉 北	68.18	3	23	2	23	1	0
	千 葉 緑	69.14	3	26	3	27	3	1
第5分 区	木 更 津	73.33	3	34	3	28	3	△ 6
	上 総	65.28	4	18	0	18	0	0
	富 津	87.00	4	14	0	16	0	2
	富 津 中 央	74.60	4	24	1	27	1	3
	木 更 津 東	92.58	3	40	0	42	0	2
第6分 区	君 津	93.49	3	39	1	44	1	5
	袖 ケ 浦	89.85	3	21	3	23	3	2
	富津シティ	71.10	3	14	1	15	1	1
	館 山	89.14	4	59	3	59	3	0
	鴨 川	96.84	3	35	7	34	7	△ 1
第7分 区	勝 浦	95.83	5	36	5	33	4	△ 3
	千 倉	75.00	4	10	1	10	2	0
	鋸 南	85.70	3	14	1	14	1	0
	館 山 ベイ	72.37	4	20	0	20	0	0
	茂 原	95.81	3	57	3	65	3	8
第8分 区	東 金	100.00	4	21	1	23	1	2
	大 原	78.25	4	19	3	18	2	△ 1

分 区	クラブ名	出席率 %	例 会 数	会 員 数				
				7/1	女	当 月	女	増 減
第6分 区	大 多 喜	72.21	3	7	1	6	1	△ 1
	成 田 空 港 南	90.40	3	35	0	37	0	2
	茂 原 東	93.64	3	22	2	22	2	0
	茂 原 中 央	91.67	3	14	2	13	2	△ 1
	大 網	83.33	3	29	1	30	1	1
第7分 区	東 金 ビュー	60.90	4	25	1	22	1	△ 3
	銚 子	86.51	3	42	4	44	4	2
	旭	73.25	4	43	2	43	2	0
	八 日 市 場	86.80	3	40	2	41	2	1
	銚 子 東	85.12	3	39	2	40	2	1
第8分 区	佐 原	83.62	3	44	0	47	0	3
	多 古	76.92	3	14	0	14	0	0
	小 見 川	83.33	3	21	0	22	0	1
	佐 原 香 取	84.05	3	27	0	25	1	△ 2
	成 田	86.67	4	66	1	65	0	△ 1
第9分 区	八 街	78.08	3	30	1	32	1	2
	印 西	85.34	3	24	0	24	0	0
	白 井	75.73	3	17	0	22	0	5
	富 里	66.00	3	27	0	29	0	2
	成田コスモポリタン	67.15	3	70	0	69	0	△ 1
第10分 区	柏	81.50	3	49	9	53	10	4
	我 孫 子	87.50	3	26	1	24	1	△ 2
	柏 西	87.80	4	59	4	63	5	4
	柏 東	96.25	3	28	3	30	3	2
	柏 南	92.00	3	32	5	34	5	2
第11分 区	習 志 野	83.72	3	28	1	27	1	△ 1
	八 千 代	91.00	4	46	0	46	0	0
	佐 倉	55.56	4	17	2	18	2	1
	八千代中央	88.10	3	27	0	28	1	1
	四 街 道	93.75	3	25	3	23	2	△ 2
第12分 区	習志野中央	88.20	4	48	5	51	6	3
	佐 倉 中 央	66.66	3	18	3	19	4	1
	松 戸	85.44	3	56	0	58	0	2
	松 戸 東	90.95	4	48	0	47	0	△ 1
	松 戸 北	78.30	3	37	0	38	0	1
第13分 区	松 戸 中 央	95.25	3	31	1	40	6	9
	松 戸 西	83.33	3	24	0	30	0	6
	野 田	82.20	2	55	5	59	7	4
	流 山	84.37	4	16	4	16	4	0
	野 田 東	83.87	5	31	0	31	0	0
第14分 区	流 山 中 央	84.10	4	22	0	23	0	1
	野田セントラル	78.26	3	24	0	24	0	0

クラブ数 84RC	2014年 7 月 1 日	地区会員数 2,714人	当月平均出席率 83.68%
	2015年 5 月 末 日	地区会員数 2,794人	増減 +80
	2014年 7 月 1 日	地区女性会員数 149人	女性会員増減 +10
	2015年 5 月 末 日	地区女性会員数 159人	

物 故 会 員（敬称略）



佐久間 邦明（勝浦 R C）
 逝去日：2015年 5 月 17 日（享年53歳）
 入会日：2008年 2 月 1 日
 ロータリー歴



中村 泰明（大網 R C）
 逝去日：2015年 6 月 5 日（享年66歳）
 入会日：2000年 1 月 13 日
 ロータリー歴
 2012-13 クラブ会長

7月のロータリーレート

124円



2015-16 年度国際ロータリー第 2790 地区 地区大会記念ゴルフ大会

日 時：2015 年 10 月 5 日(月)

会 場：レイクウッド総成カントリークラブ
千葉県成田市西和泉 729 TEL 0476-36-1556



ごあいさつ

会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。
国際ロータリー第 2790 地区、地区大会記念ゴルフ大会を来る 10 月 5 日(月)
レイクウッド総成カントリークラブを貸切りで、実施いたします。
この大会は、奉仕活動のチャリティー（「ロータリー希望の風」奨学金）
と会員皆様との親睦をかねております。多数のご参加を楽しみにお待ちしております。

地区大会記念ゴルフ大会実行委員長
名取 始

競技要項

- ▶ 競技クラス分け 女子の部 / 男子の部 / シニアの部 (60 歳以上)
クラブチーム対抗戦
- ▶ 競技クラス分け 18 ホールストロークプレー・新ベリア方式
- ▶ アトラクション ドラコン・ニアピン

料 金

- ▶ プレー代：22,000 円
キャディ付 4B / 乗用カート / ワンドリンク付昼食 / パーティ代含む
※ゴルフ場にて各自で精算ください。
- ▶ 登録料：10,000 円
参加賞及び賞品代 / 「ロータリー希望の風」奨学金への寄付
※登録料はクラブで取りまとめ一括にお振込をお願いします。

クラブチーム対抗団体戦実施

各クラブチーム 3 名の選手を予め登録願います。



各クラブにはメールでご案内をお送りします。
内容をご確認のうえ、web サイトにてお申込みください。

7月21日
より登録開始

多数のクラブ
参加希望

交通案内



● 成田インターから 5 km 所要時間は約 10 分です。

Rotary



国際ロータリー第 2790 地区 2015-16 年度地区大会事務局
(記念ゴルフ大会実行委員長 名取 始)

〒260-0042 千葉市中央区椿森 3-1-1-301
TEL 043-284-2790 FAX 043-307-2791 Email: 15-16gov@rid2790.jp

広報のひろば

みなさん、こんにちは。いよいよ櫻木年度がスタートです！
地区IT広報公共イメージ委員会では今年度、月信に地区・委員会・分区分各クラブの活動や情報を紹介していきます！
皆さんからのたくさんの情報お待ちしております♪

1年間よろしくお願いします



ガバナーとガバナー補佐の皆さんです



ガバナーと地区委員長の皆さんです

地区IT広報公共イメージ委員会セミナー開催

日時：2015年7月24日(金) 14:00～16:00

場所：千葉市生涯学習センター

内容：「マイロータリー」「クラブセントラル」
「ショーケース」などのITツールについて



地区IT広報公共イメージ委員会のFacebookを開設しました。

地区のホームページをご覧になったことがありますか？

こちらにも各クラブのロータリーデーや奉仕活動の報告ページがあります。ぜひご覧ください。掲載希望のクラブは写真と文章をガバナー事務所までメールで送ってください。詳しくはガバナー事務所までご連絡ください。

<http://www.rid2790.jp>

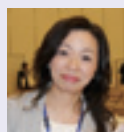


幹事長と委員長のつぶやき



佐々木：月信をみなさん読んでくれていますかね？

梶原：担当のみなさんは毎月集まって一生懸命やっていますよね。



大谷：読んでくれるといいですね。皆さんぜひ読んでくださいね♪

このページは地区IT広報公共イメージ委員会
で担当しています。何かございましたら気軽に
ご連絡ください♪

090-1453-5825 委員長 大谷京子
kyoko@ohkei.co.jp